

Generative AI Essentials on AWS

AWS クラスルームトレーニング

コース説明

このコースでは、生成 AI を使用するための基本的な概念、方法、戦略について学びます。生成 AI がソリューションを提供し、ビジネスニーズに対応できるユースケースをしっかりと理解できるようになります。さらに、生成 AI に関連するテクノロジーに関する実践的な洞察と、それらのテクノロジーを使用して現実の課題を解決する方法についても学びます。コースを修了する頃には、プロジェクト計画について学び、組織における生成 AI の導入について議論する方法を学びます。

- コースレベル: 基礎
- 所要時間: 1 日

アクティビティ

このコースには、プレゼンテーション、ハンズオンラボ、デモンストレーションなどが含まれます。

コースの目標

このコースでは、次のことを学びます。

- 生成 AI の概念、方法、戦略をまとめる
- 生成 AI と機械学習の適切な使用法とそれらのテクノロジーについて話し合う
- 生成 AI を責任を持って安全に使用方法を説明する
- 特定のユースケースでの生成 AI ソリューションの種類を認識する
- 生成 AI の実装とプロジェクト計画をあなたの組織に説明する

対象者

このコースは、生成 AI の予備知識が限られている方を対象としています。

- ビジネスアナリスト
- IT サポート
- マーケティング専門家
- 製品マネージャまたはプロジェクトマネージャ
- 基幹業務または IT マネージャ
- セールスプロフェッショナル

前提条件

このコースの受講者は、次のことを身につけておくことをお勧めします

- なし

Generative AI Essentials on AWS

AWS クラスルームトレーニング

コースの概要

1 目目

モジュール 1: 生成 AI の紹介

- 生成 AI の説明
- 基盤モデル
- AWS 生成 AI サービス
- デモ: 生成 AI ソリューション

モジュール 2: 生成 AI のユースケースを探る

- 適切なユースケースの特定
- 生成 AI のアプリケーションとユースケース
- 生成 AI のユースケースシナリオを探る
- クラスのユースケース

モジュール 3: プロンプトエンジニアリングの要点

- プロンプトエンジニアリングの紹介
- プロンプトデザインのベストプラクティス
- 高度なプロンプト戦略
- モデル設定とパラメータ
- ハンズオンラボ: Amazon Bedrock によるスローガン生成の最適化

モジュール 4: 責任ある AI の原則と考慮事項

- 責任ある AI の紹介
- 責任ある AI のコアディメンション
- 生成 AI に関する考慮事項
- ハンズオンラボ: Amazon Bedrock ガードレールによる責任ある AI 原則の実装

モジュール 5: セキュリティ、ガバナンス、コンプライアンス

- セキュリティ概要
- 敵対的プロンプト
- AWS セキュリティサービス
- ガバナンス
- コンプライアンス

モジュール 6: 生成 AI プロジェクトの実装

- はじめに — 生成 AI アプリケーションライフサイクル
- ユースケースを定義する
- 基盤モデルを選択する
- パフォーマンスを改善する
- 結果を評価する
- アプリケーションをデプロイする

Generative AI Essentials on AWS

AWS クラスルームトレーニング

- デモ: Amazon Q Business

モジュール 7: 生成 AI ソリューションの開発

- ハンズオンラボ: キャップストーン — 生成 AI を使ったプロジェクトプランの作成

モジュール 8: コースのまとめ

- コースのまとめ
- 次のステップとその他のリソース